

JAO11月定例研修会抄録

三叉神経痛の早期診断を目指した歯科-脳神経外科連携の構築

藤田医科大学ばんだね病院
脳神経外科

小松文成

三叉神経痛は脳神経外科疾患でありながら多くの症例が初診で歯科を訪れる疾患です。

今回の講演では非歯原性歯痛の代表疾患である三叉神経痛について症状、診断、治療等の基本的知識について再確認した上で、当科の三叉神経痛専門外来を受診した症例のデータを元に脳神経外科医から見た三叉神経痛診断のポイントを共有したいと思います。演者は三叉神経痛早期発見には歯科と脳神経外科との連携が最も重要であると考えております。万障お繰り合わせの上、ご参加いただけましたら幸いに存じます。

小松 文成 (Komatsu Fuminari)

所属

藤田医科大学ばんだね病院 脳神経外科 准教授

資格

日本脳神経外科学会専門医

日本神経内視鏡学会技術認定医

日本脳卒中学会専門医

略歴

1998年 東海大学医学部医学科卒

1998年 福岡大学 脳神経外科 研修医

2001年 福岡大学大学院医学研究科入学

2005年 福岡大学大学院医学研究科卒 医学博士

2005年 福岡大学 脳神経外科 助教

2009年 RCenter for Anatomy and Cell Biology, Medical University of Vienna, Vienna, Austria

2012年 東海大学八王子病院 脳神経外科 講師

2017年 東海大学八王子病院 脳神経外科 准教授

2018年 Department of Neurosurgery, Institute of Neurosciences Kolkata, Kolkata, India

2020年11月より現職

所属学会

日本脳神経外科学会

日本神経内視鏡学会

日本脳神経減圧術学会

日本脳卒中学会

日本頭蓋底外科学会

日本脳腫瘍の外科学会

日本間脳下垂体腫瘍学会

脳神経外科手術と機器学会 等

専門分野

神経内視鏡手術、神経内視鏡解剖、三叉神経痛、片側顔面痙攣、脳腫瘍